

平成15年7月8日

(社)京都府情報産業協会

作成：三上

平成15年度・第4回技術委員会議事録

開催日時	平成15年7月8日(火) 午後5時00分から午後7時00分		
場所	京情協事務所		
議題	1. 身障者のパソコン・リテラシーに関して 2. 前年度S E 研究会参加者へのアンケート調査 3. セミナー開催への取組みについて		
出席者	委員長	島津エス・ディー(株)	山本 孝
	副委員長	(株)京信システムサービス	村路 秀明
	委員	京都電子計算(株)	植田 弘毅
	委員	ウエダコンピュータシステム(株)	武部 裕彦
	委員	京都コンピュータ学院	植田 浩司
	委員	エイジシステム(株)	谷岡 伸昭
	委員	中信コンピュータアンドコミュニケーション(株)	三上 雅弘
	(欠席)委員	京都科学技術専門学校	林 正幸
	(欠席)委員	(株)日立製作所京都支店	清山 光彦
	(欠席)委員	アステック(株)	安達 貞雄
	(欠席)委員	ムラテック情報システム(株)	三田 健二
	(欠席)委員	エスピーメディアテック(株)	宇山 明彦
	事務局長	(株)京信システムサービス	須磨 光

議 事

1. 身障者のパソコン・リテラシーに関して

村路副委員長より提示された14年度実施「身障者のパソコン・リテラシー実態調査」の結果分析資料をもとに施策を検討した。

- (1) アンケート結果からは、高齢者が多くPC利用者は少数、各団体のPC利用の意欲は旺盛、IT講習の希望者は少数、などが窺える。
- (2) 視覚障害や上肢不自由などの障害者にこそ支援が必要。
- (3) 障害者向けIT講習の経験者から手法を学ぶ必要がある。
- (4) 障害者施設における実態の見聞や意見聴取が必要。
- (5) 大勢に教えるよりは会員企業に迎え入れるインターンシップのような方法がとれないか。
- (6) 意欲のある人に教えることも必要だが、無関心な方に興味をもってもらうことも必要。
- (7) アンケート結果にあるような大きな対象に対し網羅的に有効な施策を考案することは困難。課題に対し意欲を示されている施設・団体を対象に事例研究を行い、施策を提言してはどうか。

2. 前年度S E 研究会参加者へのアンケート調査

武部委員よりアンケート結果の報告をうけ、今後の方針について検討した。

- (1) 現在6社中4社より回答をいただいている。
- (2) 今後、メンバーで懇談会を開催し、意見を聞きながら品質管理をテーマに継続的に研究を行いたい。(武部委員)

3. セミナー開催への取組みについて

植田(弘)委員よりセミナー講師、テーマの選定状況について報告。

- (1) 凸版印刷殿に対し講師の依頼をしており、ご了解をいただいている。詳細打合わせを7月

9日に実施する予定。

(2) テーマはＩＣタグ、画像処理関連の最新の動向についてお話しいただける見込み。

4 . 技術委員会の開催時期について

次回は、8月12日午後5時に、京情協事務所で開催の予定とする。

以上